

式典の 目指す姿

わたSHIGA あなたが みんなが輝く式典をめざして ~人にやさしい 環境にやさしい 未来にやさしい式典づくり~

県民総参加のもと、温かいおもてなしの心で選手や参加者を歓迎し、参加するすべての人の記憶に残る式典、琵琶湖を中心に環境を大切にしてきた県民の取組を活かし、環境に配慮した式典、また、滋賀の歴史や文化などを継承し、子どもたちへ夢や感動を発信する式典を目指します。

1. 式次第▶▶▶ SHIGAに輝く選手にやさしい式典



参加した選手の声

- ・会場に入ってから待ち時間が長い。また、競技に向けてのコンディションを維持したいので、できれば座らせてほしい。
- ・選手入場前に実施されるプログラムについても、直接見られると嬉しい。



全体的に時間短縮を行い選手や参加者の負担軽減を図りました

- 【負担軽減策1】おもてなし演技(式典演技)を式典に盛り込んで実施
先催県では式典の前後に実施していた「おもてなし演技」を式典に盛り込み、炬火入場・点火の後に実施することにより時間短縮とともに会場がより一体となる式典を演出します。(先催県より30分程度短縮)
- 【負担軽減策2】オープニングプログラムの構成を見直し
式典開始前のプログラムの役割を見直し、前半の「オープニングフェスタ」では、大会の始まりを予感させる『楽しい』プログラムを、後半の「オープニングプログラム」では、式典の炬火演出やおもてなし演技へ繋がるストーリー性のある『魅せる』プログラムを実施することでメリハリを付けます。(先催県より20分程度短縮)
- 【負担軽減策3】エンディングプログラムと選手団退場を一体化
おもてなし演技から引き継いだ会場の盛り上がりをもとに、競技へ向かう選手たちを鼓舞するようなエンディングプログラムとします。(先催県より20分程度短縮)



時間目安	【国スポ】総会開会式 令和7年9月28日(日)	時間目安	【障スポ】開会式 令和7年10月25日(土)
12:30 ~ 14:00	オープニングフェスタ スポーツの祭典らしさを感じられる企画や、滋賀の自然・文化・歴史などの魅力を発信します。 (入場締切) オープニングプログラム エンディングまで一体感のあるプログラムを実施します。	9:00 ~ 10:00	オープニングフェスタ スポーツの祭典らしさを感じられる企画や、滋賀の自然・文化・歴史などの魅力を発信します。 (入場締切) オープニングプログラム エンディングまで一体感のあるプログラムを実施します。
14:00 ~ 15:00	式典 選手団・役員入場、開会宣言、国旗掲揚、炬火入場・点火、 おもてなし演技 、選手代表宣誓等 選手団は着座での式典参加	10:00 ~ 11:00	式典 選手団・役員入場、開会宣言、国旗掲揚、炬火入場・点火、 おもてなし演技 、選手代表宣誓等 選手団は着座での式典参加
15:00 ~ 15:25	エンディングプログラム これから始まる国スポへの期待感、応援ムードの中、選手達を送り出します。	11:00 ~ 11:25	エンディングプログラム これから始まる障スポへの期待感、応援ムードの中、選手達を送り出します。
15:30	終了	11:30	終了

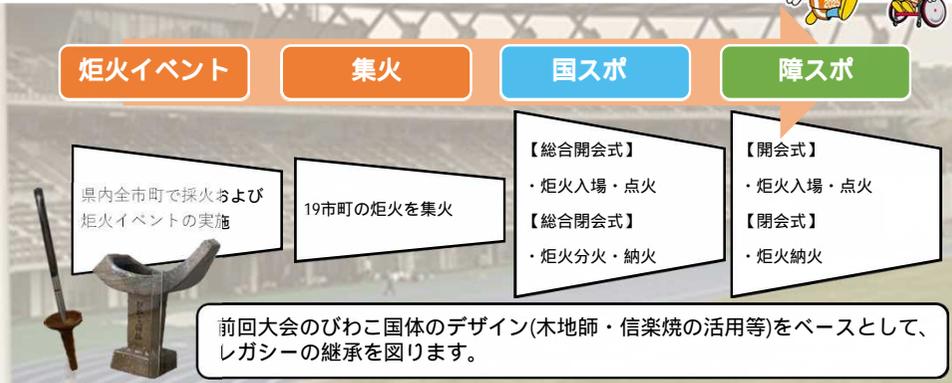
時間目安	【国スポ】総会閉会式 令和7年10月8日(水)	時間目安	【障スポ】閉会式 令和7年10月27日(月)
9:00 ~ 10:00	オープニングフェスタ スポーツの祭典らしさを感じられる企画を実施します。 (入場締切) オープニングプログラム 国スポで生まれた感動や輝きを振り返り、後に続く「わたSHIGA輝く障スポ」への期待感や一体感が高まるような内容とします。	15:00 ~ 15:30	オープニングプログラム 熱戦を振り返り選手の健闘を称えとともに、大会に関わったすべての人に感謝の気持ちを表現した内容とします。
10:00 ~ 11:00	式典 成績発表、表彰状授与、天皇杯・皇后杯授与、炬火分火・納火等 選手団は着座での式典参加	15:30 ~ 15:55	式典 大会旗引継ぎ、炬火納火等 選手団は着座での式典参加
11:10	選手団・役員退場、終了	16:00 ~ 16:30	ファイナルステージ 両大会のフィナーレとして本県ゆかりの出演者によるステージを実施します。
		16:45	選手団・役員退場、終了

2. 式典音楽▶▶▶ SHIGAに輝く音楽のチカラ



SHIGAならではの音楽隊	SHIGAならではの入場行進曲	SHIGAならではの式典音楽
ファンファーレ隊 35名程度 吹奏楽隊 150名程度 合唱隊 150名程度	イメージソング「シャイン!!」 わたSHIGA輝くメドレーマーチ 行進曲「琵琶湖周航の歌」	国スポ・障スポ開閉会式としては初となるファンファーレ隊とびわ湖ホール声楽アンサンブルの豪華コラボレーション
高校生を中心とし、子どもたちの未来へ繋がる音楽隊編成とします。	滋賀県ゆかりの作曲家 郷間幹氏、首藤健太郎氏を起用。未来に残る行進曲を目指します。	日本を代表する作曲家の参画により、式典の各場面を音楽で印象的に彩ります。

3. 炬火▶▶▶ SHIGAに輝く湖国のヒカリ



4. おもてなし演技▶▶ SHIGAに輝くおもてなしのエール



式典音楽について

1 式典音楽隊の編成方針

(1) 音楽隊の編成案

楽隊別	人数	演奏団体
ファンファーレ隊	35名程度	高校生
		びわ湖ホール声楽アンサンブル
吹奏楽隊	150名程度	高校生
合唱隊	150名程度	高校生、県内合唱団
		びわ湖ホール声楽アンサンブル

びわ湖ホール声楽アンサンブルはファンファーレ隊と合唱隊を兼任する。

(2) 音楽隊の選定基準

- ・ファンファーレ隊については、滋賀県が培ってきた文化、芸術の発信源として、びわ湖ホール声楽アンサンブルを起用する。
- ・ファンファーレ隊および吹奏楽隊については滋賀県高等学校文化連盟および滋賀県吹奏楽連盟の推薦を受けた者により編成する。
- ・合唱隊については滋賀県高等学校文化連盟および滋賀県合唱連盟の推薦を受けた者により編成するとともに、びわ湖ホール声楽アンサンブルも参加する。

2 式典使用曲リスト

曲名		作曲者 / 編曲者	演奏形態	
新規 作成 曲	ファンファーレ ~	作曲：鈴木 英史	ファンファーレ隊	
	行 進 曲	イメージソング「シャイン！！」	編曲：郷間 幹男	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル
		わた SHIGA 輝くメドレーマーチ	編曲：郷間 幹男	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル
		行進曲「琵琶湖周航の歌」	編曲：首藤 健太郎	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル
		ドラムマーチ	作曲：郷間 幹男	吹奏楽隊（打楽器）
	炬火曲 ・	作曲：鈴木 英史	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル	
既 存 曲	表彰 関 連 曲	得賞歌	作曲：G.F.Handel 編曲：保科 洋	吹奏楽隊
		ジェネシス	作曲：鈴木 英史	吹奏楽隊
		滋賀県民の歌	作曲：古関 裕而	声楽アンサンブル
		君が代	作曲：林 広守 編曲：伊藤 康英	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル
		若い力 （国民体育大会歌）	作曲：高田 信一 編曲：伊藤 康英	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル
		空よ大地よ （全国障害者スポーツ大会歌）	作曲：南 こうせつ 編曲：佐橋 俊彦	吹奏楽隊・合唱隊 声楽アンサンブル

< 作曲者紹介 >

郷間 幹男 氏（滋賀県出身）

全国吹奏楽コンクール課題曲の作曲、東京 2020 オリンピック閉会式の編曲や数々の著名アーティストへの楽曲アレンジ提供等、幅広い実績がある。近年は、近江高校の吹奏楽部が甲子園で演奏する応援曲の作曲および編曲にも携わり、注目を集めている。

首藤 健太郎 氏（大津市在住）

大津市に音楽教室を構え、器楽・声楽・合唱作品・テーマソング等の作編曲を中心にピアノ演奏・指導・企画・コラボレーション等、幅広い分野で活躍されている音楽家である。高島市開催の「琵琶湖周航の歌音楽祭合唱コンクール」において「琵琶湖周航の歌」を混声合唱用に編曲された実績があり、滋賀県になじみのある楽曲制作に期待できる。

鈴木 英史 氏（東京都出身）

国民体育大会（石川、山形、栃木）の音楽制作に携わり、式典音楽には精通されている。全国吹奏楽コンクール課題曲の作曲、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開・閉会式式典曲にて作品が使用される等、幅広い実績があり、実力、経験共に豊富である。

おもてなし演技について

1 おもてなし演技の方向性

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポの開・閉会式における演技の方向性については、以下のとおりとする。

演技構成を考えるにあたり、大切にしたいこと

- ・選手にエールをおくる演技
- ・躍動感のある演出
- ・会場全体の一体感
- ・選手へのリスペクト
- ・子どもたちへの夢や感動の発信

2 振付師候補者（案）

演技の制作については、県内で活躍されている振付師を中心に依頼することとしたい。

北村 成美(きたむら しげみ)氏 (草津市在住)

日本を代表するコンテンポラリーダンサー()。子育てをしつつ、国内の第一線でダンサー、振付師として活躍している。

6歳からバレエを始め、1992年に英国ラバンセンターにて振り付けを学ぶ。国内外でソロダンス作品を上演するほか、日本各地で市民参加によるコミュニティダンス作品を発表している。

湖南ダンスカンパニー・ディレクターとして、障がい者施設の方々が自由に自分を表現でき、その表現を認め合える場を作っている。

平成15年度大阪舞台芸術新人賞 平成22年度滋賀文化奨励賞 等

二井谷 由花(にいたに ゆうか)氏 (守山市在住)

京都女子高等学校(ダンス部)、筑波大学体育専門学群(ダンス部)卒業。在学中に、創作ダンスの全国コンクール(群舞)で第1位、第2位を受賞。栗東市に「キッズダンス S.D.C」創設(会員350名程)。

近年は、栗東市や草津市の学童保育やPTA活動でのダンス講師をするなど、教育現場やアーティスト楽曲の振り付けなどを行っている。

「心で楽しみ、心で踊る」をモットーに、ジャンルにとらわれずにリズムにのって楽しくかっこよく踊れるように指導している。

主要ジャンル：コンテンポラリー()

明確な決まりがなく、ダンサー自身が身体の動きで自由に表現するダンス(現代の舞踊)